

文化情報センターゼミナール「はじめてアート講座 2011」

回数	日	講師	内容	入場者数
第1回	5月27日	藤井明子（愛知県文化情報センター主任学芸員）	「現代音楽 企画運営と公演」	86人
第2回	6月3日	深山孝彰（愛知県美術館主任学芸員）	「展覧会のできるまで」	112人
第3回	6月24日	越後谷卓司（愛知県文化情報センター主任学芸員）	「オリジナル映像作品をプロデュースする」	68人
第4回	7月1日	大長智広（愛知県陶磁資料館学芸員）	「日本現代陶芸における東海地方」	67人
第5回	7月8日	唐津絵理（愛知県文化情報センター主任学芸員）	「ダンス企画の過去・現在・未来」	113人
第6回	7月15日	大脇可子（(財)愛知県文化振興事業団主査）	「人々の記憶に残る舞台のために」	84人
			合計	530人

毎年、現代芸術の入門講座として、美術、パフォーマンス・アーツ、映像、オペラの各ジャンルを横断する形で取り上げ、写真や映像などを利用しながら実施している。

2011年（平成23年）度は、舞台公演や展覧会を企画・制作するときの実際の経験に基づく話題を中心に、6回にわたって開催した。

